

里山学習を通して得たもの ～大津市立瀬田北小学校6年生の実践から～

久保 佳代子・藤居 恵子・長谷川 新・福本 千鈴・森井 貴士

本校が龍谷大学隣接地「龍谷の森」にて学習を始めさせて頂いたのは、今から6年前。身近に自然を感じる機会が少なくなった子ども達に環境保護や里山作りなど、さまざまな体験活動を通して「自然のすばらしさ」を知ってほしいという願いから里山学習が始まりました。総合的な学習の時間の教育課程に位置づけ、理科や社会科の單元にもある「人と環境」という観点から、身近にある里山に入り、大学の先生方や学生の方々、「龍谷の森」里山保全の会の方々のご協力を得て、充実した活動をさせて頂いています。

本校では、4年生の総合的な学習の時間の中で、学区を流れる「長沢川」について学ぶ單元があります。また、5年生の総合的な学習の時間では、「琵琶湖」というテーマを設け、川とのつながりを意識し学習を広げています。そして、6年生では、その川や琵琶湖につながる「森」をテーマに25時間の学習枠を年度当初に設定し、その年度に応じた学習活動を進めてきました。

本年度は、25時間という大きな單元であることを生かし、四季の移り変わりと森の変化との関連や、森を守るための活動、人々が里山をどのように生かしながら利用してきたかなどについて学んでいきたいと考えました。そこで、昨年同様森での活動を年3回、各学期に1回ずつ実施体験ので



きる場を設けることにしました。また、昨年度の反省から、秋の自然を体験できるように実施する時期も考慮しながら計画を立てました。

そして、3回の活動内容も龍谷大学の土屋和三先生とその都度相談させて頂き、「龍谷の森」里山保全の会の方々や学生の方々の協力を得て、講義と里山での自然体験ができる場を作るようにしました。

本年度における活動時期、活動内容は下記の通りです。

第1回目 平成18年7月7日(金) 6時間

- ・講義：里山の説明(土屋和三先生)
「龍谷の森」の生き物たち(谷垣岳人先生)
- ・里山づくりのお手伝い(水場作り・ヒノキ間伐材の運び出し)
- ・里山の自然体験(植物・キノコ・昆虫・石や砂、粘土に触れる)

第2回目 平成18年10月26日(木) 6時間

- ・講義：瀬田の里山の歴史(土屋和三先生)
「龍谷の森」の秋の昆虫たち(谷垣岳人先生)
- ・里山の自然観察(昆虫さがし：谷垣先生、植物とキノコさがし：土屋先生、ドングリと木の実さがし：蔭山歩さん)
- ・里山づくりのお手伝い(ヒノキ間伐材の運び出し)

第3回目 平成19年2月15日(木) 6時間 (雨天のため中止)

- ・講義：里山の動物たち(好廣真一先生)
冬眠する昆虫たち(谷垣岳人先生)
植物の名前(土屋和三先生)
名札プレートのデザイン(蔭山歩さん)
- ・グループ別活動 ①冬の昆虫さがし：谷垣先生、②植物の名札プレートつけ：土屋先生、好廣先生、蔭山歩さん、林珠乃さん、③工作材料収集：「龍谷の森」里山保全の会(中原真二さん・杉江博明さん・古根弘一さん)

6年児童数が164名という大人数のため、山の中の探索や選択活動などいろいろな変な面もありましたが、ボランティアの方々（「龍谷の森」里山保全の会の方、学生の方）の温かいご支援もあり、どの活動も滞りなく楽しく体験させて頂くことができました。ただ、第3回目の活動が雨天のため中止になってしまったことが非常に残念です。風邪も流行っており、卒業も間近ということでやむを得なく中止にさせて頂きました。子ども達もそれまでに植物の名前（科名・属名・和名）を書いた164枚の木のプレートを作成しており、楽しみにしていましたが、残念です。このプレートは、第1回目と第2回目の里山づくりの活動で、子ども達がヒノキ植林地から運び出した間伐材から里山ORCが作ったものをいただきました。この3回の活動以外の時間は、学校でそれぞれが「龍谷の森」の学習に課題を持ったり、体験からわかること、学んだことをまとめたりする活動の時間に充ててきました。

里山学習を通して子ども達が得たものは、子どもによって少しずつ違います。しかし、どの子も生きた自然に触れることができたのが一つの大きな収穫だったと思います。なかなか山、森というようなところへ行くという機会が少なくなり、大自然の心地よさ、温もりに触れることが少ない子ども達。また、自然の厳しさを知らない子ども達。山道のアップダウンに苦勞する子もいました。そして、ふだん見かけない虫たち。山のあちこちにあるキノコ類。野生動物の痕跡。野鳥の出現など、生き物のあれこれに目を輝かせていました。それから、年間を通して行けたことで季節の変化を肌で感じられたことも、とても良かったと思います。夏の暑い中でも、森林の中は何かしらしっとり涼やかでホッとする感じが味わえたり、実りの秋には自然の豊かな恵みを存分に感じることができました。また、木のプレート作りを通して、自然のものの生かし方に気づくことができました。

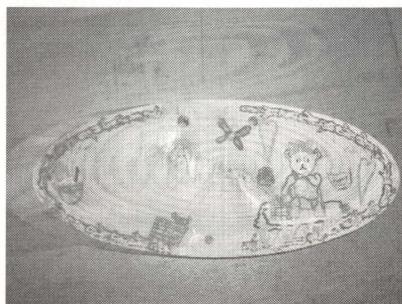


大学の講義室での講義では、里山の歴史について学ぶこともできました。昔の里山の航空写真と今の航空写真を見比べ、住宅地などの広がりが見えわかりました。また、

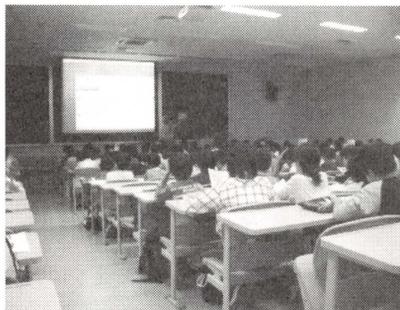
昔の方々が里山をどのように利用していたのか。そして、上手に利用することが山の手入れにもなっていることを学びました。さらに、昆虫についての講義では、子ども達が楽しめるようにクイズ形式にさせていただいたり大変おもしろい内容で子ども達も興味をそそられ楽しく学習することができました。普段とは違う学習環境の中で、一生懸命にメモをとったり、お話を聞こうとする子ども達の姿がありました。

一年間の貴重な体験を通して、また理科や社会科での学習してきたことも合わせて、自然の大切さや自然と人との共存のあり方などについて、子ども達なりに考えや思いがしっかり持てたことが大きな成果だったと思います。これからも、瀬田の地域の中にある身近な自然として、いろいろな方のご支援を得ながら、学習をより良い形で進めていければと思っています。

本年度お世話になりました龍谷大学 土屋和三先生・谷垣岳人先生をはじめ、龍谷大学瀬田事務部の方々、「龍谷の森」里山保全の会の中原真二さん・杉江博明さん・古根弘一さん、里山ORCの蔭山歩さん、および学生の方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



木目や木の温もりを生かした子ども達のプレート



講義室でのお話と体験活動を通して里山を知りました



水場づくりにも参加しました。どんな生き物が住み着くのが楽しみです。